



# 産業界の英知を結集し、不確実な時代に立ち向かおう

住友商事社長

## 兵頭誠之

ひょうどう まさゆき

1 990年代初頭の東西冷戦構造崩壊以降、世界経済は、グローバル

ゼーションの進展の中で大きく拡大してきた。しかし、近年、米中間の対立、ロシアによるウクライナ侵攻、人権や民主主義など普遍的な価値観にかかわる考え方の違いの顕在化などにより、世界で様々な分断が顕著になっている。安全保障への懸念が世界規模で高まるとともに、グローバルゼーションを前提に作られてきたサプライチェーンも様々な変更を迫られている。2022年は、エネルギー危機も相まって、世界で40年ぶりのインフレを記録した。国内では少子高齢化がさらに進展し、日本人人口の減少は、年間で70万人を超えるまでに至っている。まさにVUCA<sup>①</sup>の時代を象徴する解決が容易ではない難題は、これからも続いていく。

地球温暖化もますます深刻化している。熱波や干ばつ、洪水、森林火災など地球規模で自然災害が顕著に増加している。危機感を共有しながら、カーボンプライシングや国境調整の仕組みの具体化などを含め、カーボンニュートラルを実現し地球温暖化を食い止めるための努力を加速しなければ

ならない。今こそ産業界が協力して取り組み、大気中に排出するCO<sub>2</sub>を減らし、余分なものは回収するための具体策を講じ、大きな社会イノベーションを実現することに期待が集まる。

そのための1つの鍵になるのは技術。ChatGPTに代表されるAIの進化や、量子コンピューターの強力な演算能力は世界を変えるほどの可能性を秘めている。加えて、ビジネスの努力だけでは超えられない部分には、規制やルール形成、政策のサポートが不可欠だ。とりわけ、国際的なルール形成に積極的に関わっていくことは企業の競争力を高める観点でも大切だ。

予測困難な時代、新しい発想が求められる時代には、多様な視点や、アプローチの選択肢を多く持つことが必要になる。一企業が持つ知見・経験には限界がある。その意味で、各業界を代表する企業が集まる経団連への期待は大きい。会員企業の皆さまの英知を結集し、政府、学界ならびに国内外の経済団体との連携を深め、共に、よりよい社会を実現する具体的アクションにつなげていくために、微力ながら尽力してまいりたい。

(注) Volatility (変動性)、Uncertainty (不確実性)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (あいまい性)の頭文字をとった言葉。変化が激しく、予測困難な状況を表す